

お元気ですか



笠木かおる旭川市議会議員

かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
Kasagi@eolas-net.ne.jp

朝夕、めっきり肌寒くなり一雨ごとに冬の気配を感じる季節となりました。皆さまにはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

夏季号につづき、かおる通信秋季号をつくってみました。

春夏秋冬をサイクルに、年4回の発行に心がけたいと思っています。

是非、みなさまのご意見をお寄せいただければ幸いです。

第3回定例市議会終わる

10年度決算などを承認

旭川市議会の第3回定例会が9月14日から10月7日までの24日間の会期で開かれました。

以下、今議会の内容を報告させていただきます。

20億5千万余の補正予算を可決

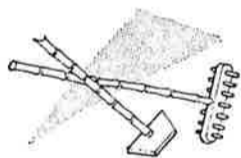
今回の議会で、20億5,305万7千円の補正予算が可決されました。

補正予算は、緊急地域雇用対策費や江丹別芳野地区に予定している次期廃棄物最終処分場の用地取得費、第2運動公園の調査事業費などを主な内容としたものです。

補正予算審査特別委員会のなかで私は、雇用対策と次期廃棄物処理場建設にしほり市の姿勢をただしました。



新規雇用が創出されるよう更に工夫を



緊急地域雇用対策事業は、国が2,000億円の規模で3年間にわたり実施する事業で、旭川市には3年間で約8億円の補助金が見込まれます。

国の10割補助事業で、各自治体が知恵をだし、この事業を通じて雇用を創出するというものです。

1年目の今年、旭川市で行なう事業は、旭山動物園の冬期開園や各種資料のデータベース化などで、約1億4千万円の補正予算を組みました。

私は、「95%が委託事業で、今後、市直接の事業を多くできないか」と指摘するとともに、「新規雇用を行なうことを条件とした委託契約を行なうべき」などと、この事業を通じて新規雇用が具体的に生まれるよう求めました。

ゴミ搬入量の軽減対策を

次期廃棄物の最終処分場建設計画は、現在の江丹別中園処分場があと数年しか埋立能力がないことから、同じ江丹別の芳野地区に約140ヘクタールの土地を取得し建設しようとするものです。

私は、美瑛・東川・東神楽の3町で構成する大雪清掃組合のゴミ焼却炉（美瑛町）では燃やせるゴミが不足していて、ゴミの受け入れが可能なことなどを取り上げ、「広域的なゴミ行政を推進すれば、事業系ゴミの焼却は可能で、最終処分場へのゴミ搬入量を減らすことができる」ことなどを指摘しました。

また、住民のなかに処分場建設に反対の声があることを踏まえ「引き続き、江丹別住民との話し合いをすすめ、合意形成に最大限の努力を」などと、市の姿勢をただしました。

はじめて決算審査にのぞみました



第3回定例会では、平成10年度の旭川市決算が認定されました。

認定にあたり決算審査特別委員会での、私の質問・提案事項は次の通りです。（概略）

環境部所管

☆ 「旭川市廃棄物減量等推進審議会」の答申が市民に伝わっていない。市民参加の形態は、「審議会」方式に加え、「ごみサミット」や「提言会」の開催など工夫をこらし「市民会議」的な手法で行なえないか。

☆ 産業廃棄物処理施設整備事業は旭川振興公社が事業主体で進めているが、責任主体は旭川市も持つべきだ。

産業廃棄物の処理と一般廃棄物の処理は、「完全分離」に固定するのではなく「連携、調整をとって処理できる」ようにしておく事の方が良いのではないか。

市民部所管

☆ 旭川聖苑の運営は委託業務になるが、住民サービスの低下を招かぬよう配慮すべきだ。

また、引き続き地元住民の意向を尊重した運営を。



生活交流部所管

☆ 「ときわ市民ホール」や「勤労者福祉会館」の申し込み受付は、電話やファックスでの受付を可能にできないか。

保健福祉部所管

☆ 介護保健制度のスタートに向け

- ① 要介護者の施設入所は市が責任をもつべきだ。
- ② 認定やサービスに対する不満、苦情の処理機関を市のなかに設置できないか。
- ③ 低所得者層に対する減免や助成制度を考えられないか。
- ④ 市町村の独自サービス事業（市町村特別給付）は、第1号被保険者（65歳以上）の保険料にはねかえる訳で、除雪サービスや給食サービスは、高齢者保健福祉計画（一般財源）のなかで考えるべきだ。

☆ 生活保護事業の

- ① 弔慰金 2,000円
 - ② 入学祝い金 6,500円
 - ③ 入院見舞い金 2,700円
- は、額、単位とも時代に見合っておらず見直す必要があると思うが。

☆ つつじ学園は8畳間に4人が生活している。プライバシーや精神的安定を保てる生活空間をつくれぬか。

☆ 市営の福祉施設の調理食材は、こめや野菜とも地場産品をつかえないか。

☆ 高齢者福祉事業の「老人」、生活保護や障害者福祉事業の「更生」というネーミングを見直せないか。



市の財源の厳しさなどから、答弁内容は満足のいくもの、不十分なものと別れますが、今後とも粘り強く取り組んでいきます。

大雨被害を調査



7月28日から降り続いた記録的な大雨による被害状況を把握するため8月5日、木村峰行・三井あき子道議らとともに、東旭川の農村地帯を調査しました。

ペーバン川の堤防破損による水田への土砂流入、大根畑の表土流出、花きハウスの全壊などを目のあたりにし、

自然の恐ろしさを改めて痛感しました。

早速、市や土木現業所へ対策を要請しました。

旭川聖苑を視察しました

8月10日、市議会民生常任委員会の一員として建設中の旭川聖苑を視察しました。

当日は、16の火葬炉や告別室、12の待合室などを見ながら、担当者からこまかな説明を受けました。

12月17日に引き渡しをうけ、明年2月1日から供用開始されます。



直接支払いの対象地域指定を

生産条件が不利な中山間地域などの営農を手助けするための「直接支払い制度」が来年から導入される予定です。

いま、対象となる地帯の指定にむけた取り組みが行なわれていますが、市内の急傾斜水田地帯が少しでも対象となるよう市農政部などと対応しています。

福祉施設や病院の祭りに感激しました



愛生会病院まつり(8月17日)、上川更生ハイム祭(8月29日)、北海道療育園北療祭(9月4~5日)などにご案内をいただき、おじゃましました。

愛生会病院と更生ハイムでは、生まれてはじめて「盆おどり」をおどりました。北療祭では田辺靖雄&九重佑三子コンサートなどを障害をもった子供

たちと一緒に楽しませていただきました。

ありがとうございました。

母校の行事はいいものです



母校である市立旭川小学校(9月26日)や桜岡小中学校(9月12日)の学芸発表会にご案内をうけ、顔をだしました。

生徒達もそれぞれ得意、不得意はあるとおもいますが、みんな一生懸命に発表している姿に学びました。

また、第74回旭商同窓会が9月18日、旭川地場産センターで開かれました。会では同窓会会報(編集者は連合後援会長、荻野慶博旭商同窓会常務理事です)が配られ、「政治の分野で活躍の同窓生」ということで、私も紹介していただきました。

懇親会を開いていただきました

笠木かおる連合後援会(荻野慶博会長)主催で「笠木かおるさんを囲む懇親会」が8月13日、ダイエー豊岡店2Fのコミュニティホールで開かれました。

連合後援会の役員と選挙事務所のスタッフにしぼってご案内させていただいたもので、当日は75名の方々が来てくれました。

安井吉典元衆議院副議長などからお祝いのごあいさつをいただきその後、なごやかに抽選会やカラオケが行なわれました。

選挙戦後、はじめてのつどいでもあり大いに激励を受けました。ありがとうございました。



ホームシティーをはじめて体験



9月12日、ロシア民族アンサンブル旭川公演が大雪クリスタルホールであり、出演者のティナー・ポソロフさんとバラライカ奏者・ヴィクトロヴィッチさんらが我が家に泊まりました。

外国人に泊まっていただくのは初めてのことで、妻ともども少し緊張しました。はたして安らいでいただけたか、大いに気になるところです。



21世紀の森で行なわれた「ヨサコイソーランまつり」、東旭川の農業まつりやふれあい祭り、あたご商工振興会の10周年記念イベントなど、今年の夏は地域の手づくり行事にふれあうことができました。

長袖のワイシャツを着て、つい最近まで「暑い、暑い」といっていたのに、第3定例会議が終わってみたら、いつのまにか大雪山の雪色はいっきに高度をさげはじめています。

10月8日、少し気分の転換と思い、一人でぶらっと旭山動物園にでかけてみました。雨上がりの肌寒い時でお客さんはまったくナシ。成長した銀杏やもみじ、白樺の紅葉はとても素晴らしく、静けさ漂う動物園もとてもいいものです。今年から動物園は冬期も開園します。

友達に紹介され有吉佐和子の「複合汚染」を読みました。

昭和54年に書かれたもので当時、市川房枝さんの秘書をしていた菅直人さんも登場します。「公害」などについて世評を博した一冊でした。

お手伝いをお願いします

「かおる通信」は手配りで配布しています。地域や職場で配布のご協力をいただける方がありましたら、是非ご一報ください。何部でも構いません。よろしくお願いします。



ご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。